



小児の二次救命処置で情報交換

## 下諏訪で初のアジア会議

日本小児集中治療研究会（日本小児集中治療研究会）

会（宮坂勝之代表、事務局・東京都）主催のパルスアジア会議（PALS Asia Committee）が六日、下諏訪町の聴泉閣かめやで開かれた。日本、米国、韓国

シンガポールなどから小児医療の専門家約二十人が出席し、小児の二次救命処置について意見を出し合い情報交換した。

PALSは米国心臓協会が同小児科学会などを目的に、国立成育医療センター手術・集中治療部長で同研究会の宮坂代

表（岡谷市出身）が呼び掛け、初めてのアジア会議を実現。「子どもの命」に合わせて開いた。

会議では、投薬や処置法、治療技術などさまざまな実例が映像やデータなどを交え発表され、熱心な意見交換が行われた。七、八日には会場を東京に移し講習会を開いている。



発行所 長野日報社

諏訪市高島3 〒392-8611  
電話0266(52)2000(代表)

編集 電話0266(58)2000  
FAX0266(58)5385  
広告 電話0266(53)2000  
FAX0266(53)6789  
販売 電話0266(52)2002  
FAX0266(58)8895

©長野日報社2005